



寄港地情報

プーケット (Phuket) / タイ王国



※船内テレビ1 OCH「寄港地紹介」も合わせてご覧ください。(4月2日~4日放映)

入港日時： 4月4日(水) 08:00
 出港日時： 4月4日(水) 17:00
 着岸岸壁： プーケット港 ディープ・シー ポート (Phuket Deep Sea Port)
 最終帰船時刻： 4月4日(水) 16:00
 シャトルバス： プーケットではタクシーやトゥクトゥク等の組合が強く、市街地へのシャトルバスを運行することができません。自由行動をされるお客様は有料連絡バスツアーやタクシー(有料)等をご利用ください。
 飛鳥デスク： ターミナル付近に設置します

■緊急連絡先■

「飛鳥Ⅱ」： ①Tel: 001-81-80-1121-6937 (携帯電話/寄港中のみ)
 ②Tel: 001-870-7649-16750 / 16755 (衛星電話)
 “Please dial this number.” ↑ (この番号に電話してください。)
 ※緊急時など現地の方に電話を依頼する際ご提示ください。

現地手配旅行会社： サイアム・エクスプレス Siam Express
 担当： 大野 Tel: 081-895-2409 (携帯電話/日本語可)

在タイ日本国大使館： 010-66-(0)2-207-8500又は696-3000

※海外で利用可能な自動ローミングされる日本の携帯電話から掛ける場合、(0)からダイヤルしてください。

日本へ電話をかける場合： 001-81-(0を除いた市外局番)-(相手先の電話番号)

※日本の携帯電話からかける場合は「001」の代わりに「+」を押して発信する場合があります。

寄港する港の特徴

港周辺 アジアを代表するタイ国最大の南国リゾート、プーケット島は、バンコクから飛行機で南へ約1時間20分のところに位置し、総面積543km²(東京都の約4分の1、淡路島より少し小さい大きさ)の広さを誇る、タイ最大の島です。島自体がひとつの県になっており、39の小さな島々に囲まれています。

気候と服装

気候情報 4月 最高気温：35℃ 最低気温：25℃

熱帯モンスーン気候で4月は乾季ですが、気温が高くなり高温多湿です。

服装のアドバイス 半袖や通気性の良い服装で構いませんが、冷房対策に羽織るものをお持ちになる事をお勧めします。紫外線も強いので、帽子、サングラス、また日焼け止めなどをお持ちいただくと便利です。

時差

日本との時差 日本標準時より2時間遅れています。(プーケットの正午は、日本時間の午後2時)

治安

外務省海外安全情報 現在、危険情報は出ておりません。

治安情報 プーケットはタイ国内では比較的治安の良い地域ではありますが、スリやひったくりなどの盗難の被害に遭うケースもあります。ご自身にて貴重品の管理は十分ご注意ください。

外出時の注意 外出時には緊急時に備え、緊急連絡先を記載した書類と携帯電話などを必ずお持ちください。

チップ

習慣の有無 基本的にありません。

金額の目安 サービス料を含まないレストランで食事した場合やマッサージを受けた場合は、料金の10%を目安にチップをお渡しください。

通貨と両替

現地通貨 タイ・バーツ (Baht) 補助通貨はサタン (Satang)

(B) 1 = (S) 100=約 3.5 円 (2018 年 4 月現在)

両替情報 ターミナル内の両替所をご利用ください。 **両替所** オープン時間 07:00~17:00

※一部のツアーではバス内にて両替パック販売 (日本円 3000 円分) を行います。

※ 船内では日本円への再両替はできません。

タクシー

港のタクシーの有無 ターミナル外に待機しています。

「飛鳥Ⅱ」～市街地間の目安 プークェットタウン

距離: 約 10 km、所要時間: 約 30 分、料金目安 (片道): 約 500~800 バーツ

市街地からの利用 ホテルやショッピングセンター等での利用をおすすめします。

料金制度 基本的に交渉制です。(乗車前に行き先、料金を必ず先に確認してからご利用ください)

料金確認せずに乗車後のトラブルとなる可能性もあります。ご利用の際は、十分ご注意ください。

飲料水

現地の水の安全性 ミネラルウォーターをお勧めします。お部屋のお飲み物をお持ちください。

トイレ事情

市街地での利用 ホテルやレストラン等での利用をお勧めします。

お買い物

港周辺のお店 プークェットの中心地であるプークェットタウンから車で 30 分程の場所に着岸します。

港周辺には土産物店、レストラン等はありません。港に少し、お土産物屋、屋台等があります。

一般商店営業時間の目安 オープン時間: 10:00~22:00 頃 (店舗によって異なります)

お土産一例 <<タイシルク>>「ジムトンプソン」バックや小物製品「NaRaYa (ナラヤ)」などが有名です。

<<宝石>>ルビーやサファイア、真珠等が日本より安く販売しています。

<<陶磁器>>鮮やかな色使いが特徴の「ベンジャロン焼」や翡翠色の青磁器「セラドン焼」など。

ショッピング上のご注意

◆ワシントン条約 (絶滅の危機に瀕している野生動植物の国際取引に関する条約) で規制されている動植物およびその加工品は、条約で定められた許可書が無い限り日本への持ち込みはできません。

(規制代表例: 象牙・トラなどの毛皮や動物、ジャコウシカ・クマなどを含有する漢方薬など)

◆医薬品や化粧品は数量制限があります。(内服薬 2 ヶ月分以内、外用薬・化粧品は 24 個以内など)

◆偽ブランド商品・コピー商品などは、日本への持ち込みが禁止されています。

◆輸出証明がある場合でも、ビーフジャーキーなどの肉類・加工品は日本への持ち込みはできません。

◆植物類 (生鮮野菜や果実、米) は日本帰国時に植物検疫の対象となり、持ち込めない物もあります。

◆日本帰国時の免税範囲や規制品の詳細は、5 デッキ・レセプションにパンフレットをご用意しています。

その他

消費税の払い戻しについて (VAT)

タイへの旅行者はタイ国内で購入した合計 5,000 バーツ以上の買い物について 7% の税金 (Value-Added Tax) 分を帰国時払い戻してもらうことができますが、飛行機で帰国する方が対象となります。港では手続きできません。

現地語ひとこと会話

こんにちは・・・サワッ ディー クラップ (女性は「クラブ」ではなく「カー」)

ごめんなさい・・・コートート クラップ (女性は「クラブ」ではなく「カー」)

ありがとう・・・コップ クン クラップ (女性は「クラブ」ではなく「カー」)

さようなら・・・ラーコーン ナ クラップ (女性は「クラブ」ではなく「カー」)

<作成: ツアーデスク>

4/4 フーケット 見どころのご案内

飛鳥Ⅱが入港するフーケットの港は、フーケット島の中心地フーケットタウン郊外に位置しています。フーケットでは、地元タクシーやトゥクトゥクの組合の力が強いので、シャトルバスの運行ができません。オプションツアー（有料連絡バスなど）、タクシー（有料）をご利用の上、滞在をお楽しみください。

飛鳥Ⅱの入港を歓迎して、下記時間帯に着岸岸壁でタイ民族舞踊が予定されています。

①②の時間は演舞披露後に写真撮影もできますので、ぜひお楽しみください。

①11:00~11:10 ②14:00~14:10 ③16:50~17:00

※下記番号は裏面地図の番号です。※下記の営業時間や料金等は予告なく変更になる場合がございます。

① パトン・ビーチ (Patong Beach)

*タクシー料金（往復の目安）バン 2,000 バーツ セダン 1,800 バーツ 通常所要時間 40分
フーケットを代表する広々としたビーチで、周辺にはホテルやレストラン、ショッピングセンターなどが集まり、1年中観光客で賑わうフーケットでも最も人気のある場所です。

② カロン・ビーチ (Karon Beach)

*タクシー料金（往復の目安）バン 2,000 バーツ セダン 1,800 バーツ 通常所要時間 40~60分
フーケット島西海岸に位置する美しいビーチです。パトン・ビーチより落ち着いた雰囲気ですが、ホテルが点在し、レストランやお店もあるので、お買い物などを楽しみながらものんびりと過ごせます。

③ シャロン寺院 (Wat Chalong)

*タクシー料金（往復の目安）バン 1,800 バーツ セダン 1,600 バーツ 通常所要時間 30分
フーケットにある寺院の中で最大にして、最も信仰を集めているタイ式仏教寺院です。本堂には、1876年に中国移民の反乱を制圧した2人の高僧の像が安置されています。この像の全身には参拝に訪れた信仰の厚い人々が寄進した金箔がびっしりと張り付けられています。

※参拝可能時間：07:00~17:00 / 入場料：無料

④ ラン・ヒル (Rang Hill)

*タクシー料金（往復の目安）バン 1,500 バーツ セダン 1,300 バーツ 通常所要時間 20分
フーケットタウンの北西に位置する小高い丘。頂上の公園からはフーケットタウンが一望でき、昼間はピクニックなどを楽しむ家族連れのリラックした場として、日が沈むと美しい夜景スポットとして多くの人で賑わっています。

⑤ フーケットタウン (Phuket Town)

*タクシー料金（往復の目安）バン 1,500 バーツ セダン 1,300 バーツ 通常所要時間 30分

*有料連絡バスをご利用ください。

フーケット島の中心地であるフーケットタウンは、1518年にポルトガル人が交易の拠点とし、1800年代にはスズ鉱山の労働者として大量の中国人移民が流入した歴史があるため、街には中国-ポルトガル様式のコロニアル風建築が点在しています。様々な商店やデパートが並びショッピングも楽しめます。

【飛鳥デスク】現地事情に詳しい係員がお客様のご質問にお答えします。

場所：ターミナル内 オープン時間：09:00~15:00

【タクシーでお帰りの際は・・・】

タクシーで「飛鳥Ⅱ」へお戻りになる際には、下記タイ語を運転手にお見せください。

ส่งกลับท่าเรือหน้าลิ้งค์ด้วยค่ะ (私をフーケット港ディープシーポートに連れてってください)

■ 緊急連絡先 ■

「飛鳥Ⅱ」着岸岸壁：フーケット港 ディープ・シー Phuket Deep Sea Port

最終帰船時刻 16:00

「飛鳥Ⅱ」：①Tel: 001-81-80-1121-6937 (携帯電話/寄港中のみ)

：②Tel: 001-870-7649-16750 / 16755 (衛星電話)

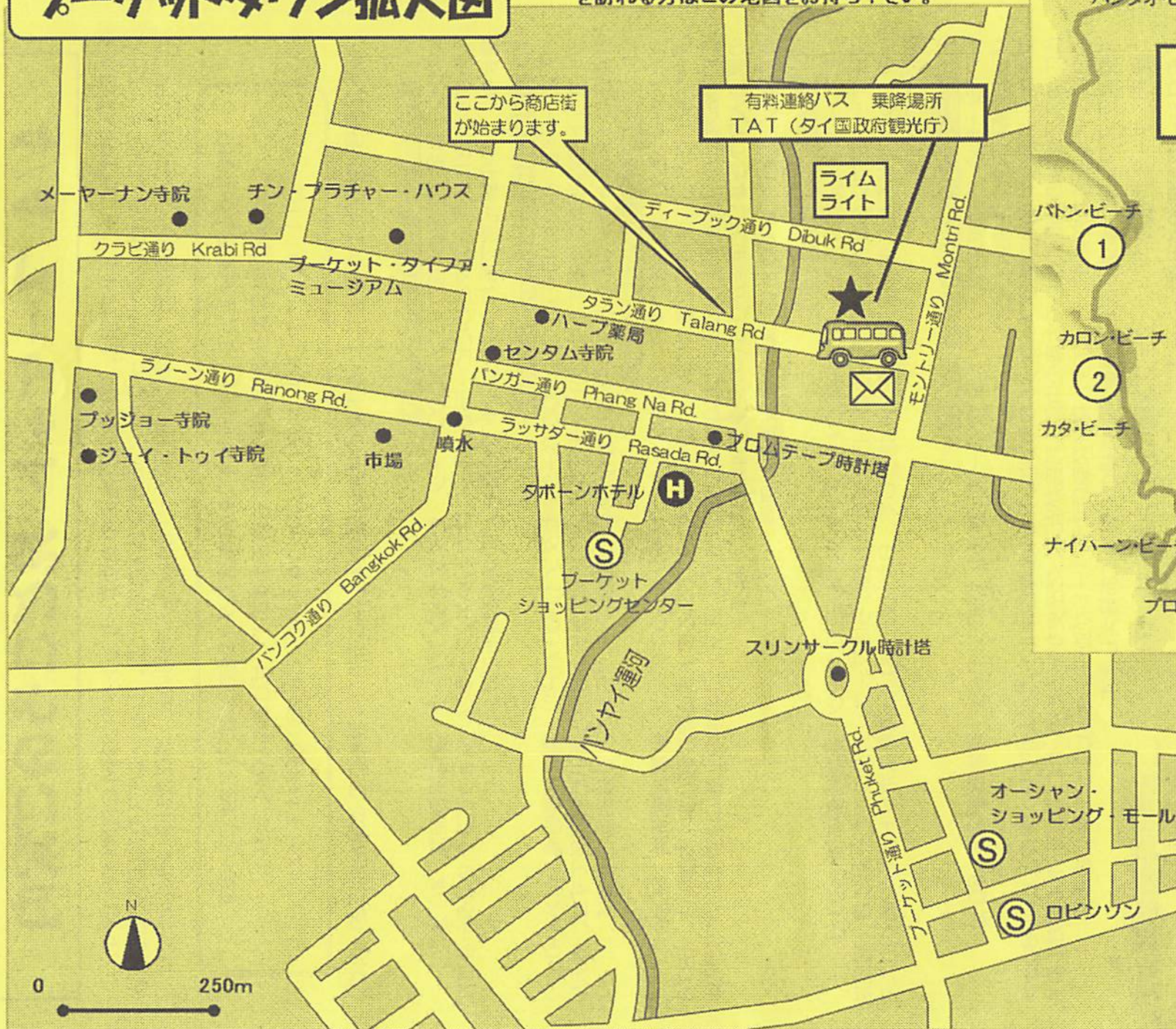
日本へ電話をかける場合：00-81-(0を除いた市外局番)-(相手先の電話番号)

※日本の携帯電話からかける場合は「00」の代わりに「+」を押して発信する場合があります。



プーケットタウン拡大図

有料連絡バスやツアーでプーケットタウンを訪れる方はこの地図をお持ち下さい。

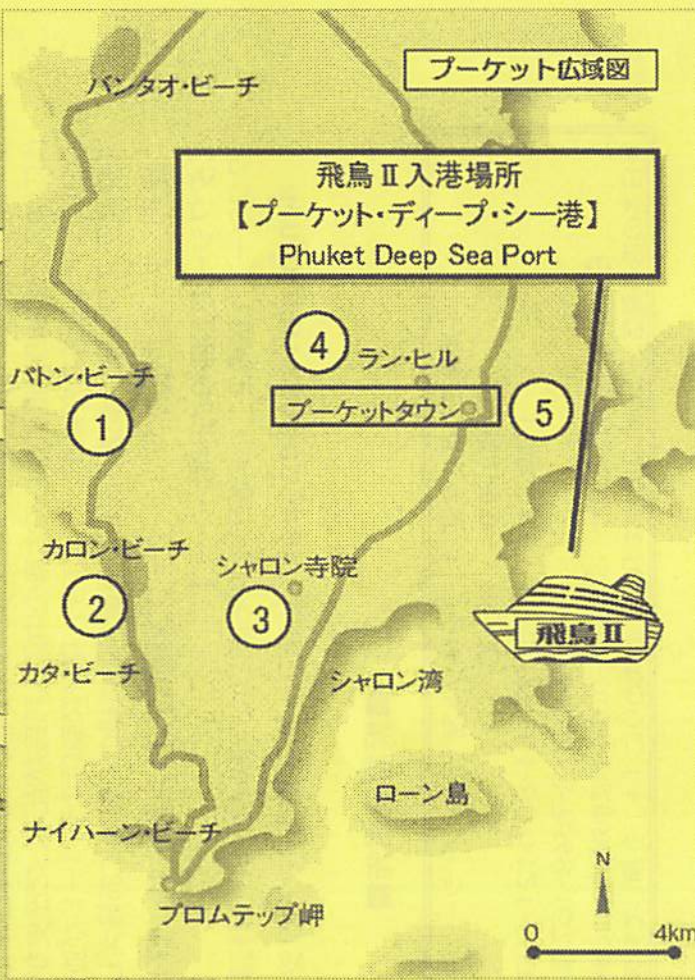


ここから商店街が始まります。

有料連絡バス 乗降場所
TAT (タイ国政府観光庁)

ライム
ライト

プーケット広域図



飛鳥II入港場所
【プーケット・ディープ・シー港】
Phuket Deep Sea Port

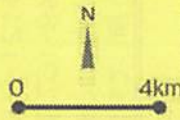
④ ラン・ヒル

プーケットタウン

⑤

シャロン寺院

③



プーケットタウンで観光客に人気があるのは老舗店が軒を並べるタラン通り、おしゃれなカフェやレストランが立ち並ぶバンガー通り、お菓子屋さんが密集しているディーブック通りです。ディーブック通りではプーケット限定のオーエウと呼ばれるゼリーやタオソー(カムノピア)というパイの中にあんこが入ったお饅頭なども売られています。モントリー通りにはプーケット最古の郵便局があり現在は切手の博物館として利用されています。その通りの向いがバスの乗降場所TAT(タイ国政府観光庁)です。

